

JIS

まほうびん

JIS S 2006 : 2024

(全国魔法瓶工業組合/JSA)

令和 6 年 1 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.11.7 改正：令和 6.1.22

官 報 掲 載 日：令和 6.1.22

原 案 作 成 者：全国魔法瓶工業組合

(〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満 2-9-4 千代田ビル東館 TEL 06-4792-7011)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	4
5 主要部の名称	4
6 性能	9
6.1 使用性能	9
6.2 品質性能	10
7 構造	13
7.1 構造一般	13
7.2 種類別構造	13
8 外観	14
9 材料	14
10 試験方法	15
10.1 試験の一般条件	15
10.2 数値の丸め方	15
10.3 栓又は蓋（上蓋）の臭気及び湯の味	15
10.4 保温効力及び保冷効力	16
10.5 耐衝撃性	17
10.6 印刷塗装の密着性	20
10.7 鉄鋼素地上のめっき	20
10.8 プラスチック上のめっき	20
10.9 パッキン及びその他のゴム製品の耐熱水性	20
10.10 実容量	21
10.11 転倒角度	24
10.12 ハンドル（取っ手）及びつり手（手さげ）の取付強度	24
10.13 転倒流水	24
10.14 自然吐出	24
10.15 注水機構の耐久性	24
10.16 湯漏れ及び水漏れ	25
10.17 中栓の取付けはめ合い	26
10.18 下げひもの強度	26
10.19 袋（ポーチなど）及び下げひもの染色堅ろう度	27
11 検査方法	27
11.1 型式検査	27

	ページ
11.2 製品検査	27
11.3 記録	28
12 表示	28
13 取扱い上の注意事項	28
解 説	30

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、全国魔法瓶工業組合及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS S 2006:2019** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

まほうびん

Vacuum bottles

1 適用範囲

この規格は、主として飲料物の保温及び保冷を目的としてガラス製真空二重容器（以下、中瓶という。）を用いたまほうびん（以下、ガラス製まほうびんという。）及びステンレス鋼製真空二重容器（以下、容器という。）を用いたまほうびん（以下、ステンレス鋼製まほうびんという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帯
JIS G 3303 ぶりき及びぶりき原板
JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
JIS H 3100 銅及び銅合金の板及び条
JIS H 4000 アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条
JIS H 8617 ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
JIS K 6718-1 プラスチック—メタクリル樹脂板—タイプ，寸法及び特性—第1部：キャスト板
JIS K 6718-2 プラスチック—メタクリル樹脂板—タイプ，寸法及び特性—第2部：押出板
JIS K 6744 ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯
JIS L 0803 染色堅ろう度試験用添付白布
JIS L 0848 汗に対する染色堅ろう度試験方法
JIS R 3502 化学分析用ガラス器具の試験方法
JIS S 2010 アルミニウム製加熱調理器具
JIS S 2029 プラスチック製食器類
JIS Z 1522 セロハン粘着テープ
JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。